



安全互助会だより

第9号（令和元年8月8日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
第二道通ビル
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201
URL <http://www.h-anzen.com/>



健康で安全な高校生活を

理事長 新井田 寛

新しい時代「令和」を迎えましたが、皆さんには、充実した学校生活やPTA活動に取り組まれていることと思います。

本会は、ケガなどを負った際の経済的負担に対する相互扶助を行うことを目的として、平成26年に北海道高等学校PTA連合会により設立され、翌27年から共済事業を実施し、これまで約1万5千5百件で2億850万円の給付を行うなど、多くの方々に役立つことができました。今後とも、PTA会員の助け合いの精神を大切にしていきたいと考えております。

さて、現在、全国的に高校生のケガが急増している状況にあり、本会においても傷病共済金給付額が急増していることから、昨年度、共済制度の検証を実施し、臨時評議員会を開催して傷病共済金の減額給付の改定を行いました。共済制度を長く安定した運営体制のもとに進めることを目的としたものであり、ご理解いただきたいと思っております。

共済金の給付に合わせて本会の重要な活動に、ケガの防止や健康な生活を過ごすことなどをねらいとした安全普及啓発活動があります。ケガの防止対策として、昨年度から北海道高等学校体育連盟の「運動部活動顧問のための指導ハンドブック」の発行に対して助成を行っています。学校における高校生のケガの8割は部活動で発生していることからケガの未然防止や応急処置などに役立つことを期待しています。その他、学校で実施する健康の保持や安全の確保などのための講演会などの活動に対しても助成を実施しており、多くの高校生に健康や安全に関する質の高い情報を提供する機会となっています。これら安全普及啓発活動の充実にも、鋭意取り組んでいきたいと考えています。

本会は、PTAの皆さんの相互扶助の精神から生まれた組織です。その原点を大切にしながら、今後も、皆さんのお役に立てる共済制度の運営を進めてまいりたいと考えております。

高校生の皆さんには、今年も健康で安全な生活を過ごし、輝ける未来に向けて歩みを進めるよう心から期待しています。

■ 令和元年度 定時評議員会を開催

6月1日（土）定時評議員会が評議員16名全員が出席して、苫小牧市のグランドホテルニュー王子で開催されました。新井田理事長の挨拶後、議長に高橋秀一評議員、議事録署名人に前岡亮司評議員、渡邊周一評議員を選任した後、議事に入りました。概要は次のとおりです。

・第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の承認
共済事業を中心とした事業報告及び収支決算の説明の後、監査報告を三浦由貴子監事が行い、満場一致で承認されました。（詳細はホームページに掲載されています。）

・第2号議案 令和元年度事業計画及び収支予算の報告
2月21日（木）の第4回理事会で決定された令和元年度の具体的な事業計画と収支予算について報告が行われました。

事業計画の給付事業では、4月1日以降に発生した災害から共済規程改定後の新たな給付が開始されること、全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会が、本会の主管により10月3日に札幌市で開催されることなどについて説明が行われました。



議長は高橋秀一評議員

・第3号議案 評議員の選任

退任した評議員にかわり新たに13名の評議員を選任しました。任期は令和4年度定時評議員会終了時までです。

・第4号議案 役員（理事・監事）の選任

退任した役員にかわり、新たに3名の理事、3名の監事を選任しました。任期はいずれも令和2年度定時評議員会終了時までです。

■ 理事会から

第1回理事会

5月11日（土）〔ホテルニューオータニイン札幌〕

令和元年度の共済事業の加入見込状況の報告、高P連支部総会における概要説明の内容について検討するとともに、定時評議員会の議案の確定を行いました。

臨時評議員会

7月27日（土）〔ANAクラウンプラザホテル札幌〕

定時評議員会後、理事1名の退任があったことから新たに平野雅嗣氏（道高体連会長代行）を理事に選任しました。

第2回理事会

7月27日（土）〔ANAクラウンプラザホテル札幌〕

常務理事の選任と業務担当の決定、助成金交付団体の決定、審査委員の選任したほか、全国総会及び研究大会の準備日程等について協議しました。

■平成30年度共済金の給付状況

30年度の給付の対象には、27～29年度に発生した災害で治療が継続しているものも加わっています。

共済金等給付総計	3,547件	68,818,500円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

○生徒への給付

死亡	1件	5,000,000円
----	----	------------

※ 夜間に自転車で下校中に発生した交通事故によるものです。

障害	2件	900,000円
----	----	----------

※ 12級1件、14級1件で、スポーツ振興センターで認定した等級に準じて給付されます。

傷病	3,537件	62,438,500円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて月毎に給付するため、実際に発生した災害の件数は2,352件でした。以下、発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,593件、授業中562件、通学中112件、休憩中83件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカーで793件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中で、そのうち400件は体育の授業中で、球技が多いですが、跳び箱やスキーなどでの発生も見られます。

通学中のうち71件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしている時のケガが多いですが、階段の踏みはずしによる転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	608件
捻挫	351件
脱臼	117件
打撲・挫傷	281件
創傷	83件
靭帯損傷・断裂	422件
半月板損傷・断裂	73件
腱損傷・断裂	21件
歯牙破折	26件
その他負傷	81件
疾病	289件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、捻挫が続きます。疾病では、運動に起因するものが201件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは114件と多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下肢部が5割を占めています。上肢部は2割、頭頸部と体幹部は1.5割となっています。傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足首、鼻の骨折と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	2件	120,000円
------	----	----------

※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香料	3件	300,000円
----	----	----------

※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷病	2件	60,000円
------	----	---------

※ PTA活動中にPTA会員が被った災害で、スポーツ行事で発生しました。

■平成30年度末財務状況

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,638,034	3,875,392	7,762,642
現金預金(普通支払備金分)	928,600	2,031,400	△1,102,800
現金預金(既発生未報告支払備金分)	56,720,353	66,085,050	△9,364,697
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	69,286,987	71,991,842	△2,704,855
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	11,100,780	10,000,000	1,100,780
責任準備金積立金	13,071,540	9,797,526	3,274,014
退職給付引当積立金	666,000	666,000	0
特定資産計	24,838,320	20,463,526	4,374,794
固定資産計	24,838,320	20,463,526	4,374,794
資産合計	94,125,307	92,455,368	1,669,939
II 負債の部			
1. 流動負債			
普通支払備金	928,600	2,031,400	△1,102,800
既発生未報告支払備金	56,720,353	66,085,050	△9,364,697
未払金	0	0	0
預り金	180,620	227,255	△46,635
流動負債計	57,829,573	68,343,705	△10,514,132
2. 固定負債			
準備金	11,100,780	10,000,000	1,100,780
責任準備金	13,071,540	9,797,526	3,274,014
退職給付引当金	666,000	666,000	0
固定負債計	24,838,320	20,463,526	4,374,794
負債合計	82,667,893	88,807,231	△6,139,338
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	11,457,414	3,648,137	7,809,277
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	11,457,414	3,648,137	7,809,277
負債及び正味財産合計	94,125,307	92,455,368	1,669,939

■令和元年度共済事業加入状況 (7月末現在)

○加入校 187校

○生徒

- ・全日制 62,389人
- ・定時制 687人
- ・専攻科 238人

生徒計 63,314人

○教職員 3,778人

○子弟が在学していないPTA 73人

総計 67,165人

※ 閉校や少子化などにより加入校で4校減少し、加入生徒数で1,236人減少しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約18,200人です。

■ 令和元年度業務計画

4月5日	公認会計士監査
4月12日	監事監査
5月11日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
6月1日	定時評議員会
6月7日	文部科学省共済法研修会
6月11日	30年度事業報告書提出（道教委へ）
7月8日	全国高等学校安全互助会連絡協議会役員会
7月24日	道教育長・道教委関係部局との懇談会
7月27日	第2回理事会
8月8日	互助会だより第9号発行
8月初旬	役員変更届（道教委へ）
10月3日	全国高等学校安全互助会連絡協議会総会
10月中旬	審査委員会
10月中旬	公認会計士監査
11月22日	全国高等学校安全互助会連絡協議会研修会
12月14日	第3回理事会
1月下旬	「令和2年度共済事業の手引」発行 互助会だより第10号発行
2月7日	文部科学省共済法研修会
2月20日	第4回理事会
3月中旬	2年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、昨年度から、各学校で行う健康や安全などに関する講演会等に助成する「健康安全普及啓発事業」が実施されています。

■ 令和元年度助成金交付団体

生徒の校内外の生活における健康・安全・健全育成に取り組んでいる団体から助成金交付団体を決定しました。

- ・ 北海道高等学校長協会生徒指導委員会
学校安全や生徒指導に関する調査研究や、いじめネットトラブル根絶メッセージコンクール及び交通安全標語・ポスターコンクールに対し助成します。
- ・ 北海道高等学校養護教諭研究会
生徒の校内外の健康や安全について指導する養護教諭の専門的な知識や技術の向上を目的とした養護教諭研究会に対して助成します。
- ・ 北海道高等学校体育連盟
道高体連が発行し、安全管理、事故発生時の対応、応急手当、スポーツ障害と予防等が掲載された「運動部活動顧問のためのハンドブック」の改訂・発行に対して助成します。

■ 令和元年度収支予算

《収入の部》 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
会費収入	90,092,000	88,737,200	1,354,800
雑収入	270,000	268,000	2,000
準備金等戻入額	57,653,780	68,243,077	-10,589,297
収入合計	148,015,780	157,248,277	-9,232,497

《支出の部》

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
事業費	134,890,060	150,342,528	-15,452,468
共済給付事業費	66,600,000	66,600,000	0
準備金等繰入額	42,610,060	61,578,776	-18,968,716
安全普及費	2,150,000	2,150,000	0
広報事業費	3,410,000	3,380,000	30,000
助成事業費	1,500,000	1,500,000	0
調査研究費	1,330,000	1,330,000	0
人件費	8,680,000	8,600,000	80,000
需用費	3,610,000	3,270,000	340,000
雑費	5,000,000	1,933,752	3,066,248
管理費	5,648,000	5,548,000	100,000
人件費	1,488,800	1,400,000	88,800
事務費	1,850,000	1,750,000	100,000
需用費	2,280,000	2,000,000	280,000
雑費	29,200	398,000	-368,800
当期支出合計	140,538,060	155,890,528	-15,352,468
当期収支差額	7,477,720	1,357,749	6,119,971
前期繰越収支差額	3,000,000	8,740,350	-5,740,350
次期繰越収支差額	10,477,720	10,098,099	379,621

事務局から

- ・ 元号が「令和」となったことにもない、各種様式が変更されています。まだ、古い様式での請求等がありますので注意してください。

現在の様式は、本会のホームページからダウンロードして活用して下さい。

<http://www.h-anzen.com/>

- ・ 第7号様式の保護者名は、スポーツ振興センターに提出した災害報告書の保護者名と一致させてください。
- ・ 生徒の傷病共済金請求に係る書類の提出にあたっては、個人毎に、請求月毎に、「共済金請求書」「災害報告書」「医療費支払通知書」の3葉をまとめてクリップやホッチキスでとめて送付してください。（必要に応じ「医療費支払通知書」はコピーしてください。）
- ・ 同一災害の本会への請求が複数回になる場合は、2回目以降は「災害継続報告書」を添付しますが、その災害に関する本会への請求が初めての場合は「災害報告書」を添付してください。
- ・ 誤請求があった場合は、事務局より電話や文書で連絡していますが、「共済事業の手引」の該当部分を確認にしてくださいますようお願いいたします。

保健室からこんにちは！！



「子供達の安全のために」

札幌稲雲高等学校 養護教諭
堀川 智恵

本校は普通科7間口、全校生徒約830名の大規模校です。養護教諭は複数配置で保健室は2名体制ですが、体調不良やケガ、健康相談、日本スポーツ振興センターの手続き等で生徒達は途切れることなく来室するため、あっという間に一日が過ぎます。

本校の平成30年度の日本スポーツ振興センターの給付件数は208件、災害発生件数は71件でした。発生件数の65%が体育的部活動中、15%が体育授業中で、80%が運動中の災害でした。また、安全互助会の給付件数は44件で、90%が運動中の災害でした。本校だけでなく、全国的にみても高校では運動中の災害が最多です。

学校における体育活動は、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育む基盤であり、子供達が将来、様々な世界で活躍するに際し、意義、効果をもたらすものです。来年は東京オリンピックが開催されるため、スポーツへの関心が非常に高まっていますが、死亡や高度障害といった重大な事故が毎年繰り返し発生している事実も忘れず、未然防止の取り組みの強化、安全対策の再点検が大切だと考えます。

また、本校では登下校中の自転車事故が、通学に慣れてきた5月頃から急増します。命に関わる重大事故にも繋がるため、「スケアード・ストレート」（恐怖を実感し危険行為を未然に防ぐ教育方法）の実施や、日常的に交通安全指導を行っていますが、ご家庭でもスピードは抑えて十分注意して通学するよう、繰り返しご指導いただければと思います。

平成29年に策定された「第2次学校安全の推進に関する計画」では、今後の学校安全の目指すべき姿として以下の2点を掲げています。

- ① 全ての児童生徒等が、安全に関する資質・能力を身に付けることを目指す。
- ② 学校管理下における児童生徒等の事故に関し、死亡事故の発生件数については限りなくゼロを目指すとともに、負傷・疾病の発生率については障害や重度の負傷を伴う事故を中心に減少傾向にすることを目指す。

「行ってきます」と家を出た子供達全員が、同じ姿で「ただいま」と帰れるようお願い、日々勤務しています。

令和元年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長 新井田寛 (道高P連会長・札幌月寒)
 常務理事 山本美加 (道高P連副会長・札幌北陵)
 常務理事 海東剛哲 (道高P連副会長・留萌)
 常務理事 永淵 優 (道高P連副会長・札幌丘珠)
 常務理事 森 政徒 (道高P連副会長・札幌英藍)
 理事 宮下 聡 (道校長協会会長・札幌北)
 理事 平野雅嗣 (道高体連会長代行・札幌白石)
 理事 堀川智恵 (道高養研副会長・札幌稲雲)

※ 常務理事の業務担当

・運営総括担当	新井田寛	理事長
・コンプライアンス担当	永淵 優	常務理事
・リスク管理担当	海東剛哲	常務理事
・内部会計監査担当	山本美加	常務理事
・理事会等議事録担当	森 政徒	常務理事

・監事

山木 傑 (道高P連監事・滝川西)
 高橋憲司 (道高P連監事・苫小牧西)
 前岡亮司 (道高P連監事・函館商業)

・評議員

池邊泰子 (道高P連石狩支部・北広島)
 宮崎 忍 (道高P連道南支部・函館商業)
 平 竜次 (道高P連後志支部・小樽商業)
 佐々木祐子 (道高P連空知支部・美唄聖華)
 村井為敦 (道高P連旭川支部・旭川東)
 大滝英治 (道高P連留萌支部・留萌)
 虎野 温 (道高P連名寄支部・名寄産業)
 前田敏治 (道高P連北見支部・網走桂陽)
 五十嵐真也 (道高P連十勝支部・帯広南商業)
 奈良賢祐 (道高P連釧路支部・釧路北陽)
 福原輝彦 (道高P連根室支部・標津)
 長野修二 (道高P連胆振支部・苫小牧西)
 石山英範 (道高P連日高支部・浦河)
 河原範毅 (道高等学校長協会・札幌東)
 鈴木 浩 (道高等学校教頭副校長会・札幌月寒)
 山寺勝宏 (道公立学校事務長会・札幌東)

令和元年度 審査委員会委員

三戸和昭 (北海道医師会常任理事)
 田西 亨 (北海道歯科医師会常務理事)
 中川雅司 (道高校長協会生徒指導委員長)
 大畑裕貴 (札幌北陵高校PTA会長)
 金井 禅 (札幌西陵高校PTA会長)